

ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況

2005年7月12日

2005年7月10日概況：

7月10日に終わる1週間の気温は高温・湿潤であった。平均気温は各地の観測所で平年を1~3度F上回った。週の初めは最高気温は80度台であったが週の終わりに掛け南からの湿った風が吹き込み、気温は上昇し最高気温は90度半ばかりから101度F(SW地区)を記録した。最低気温は46~51度F程度であり、極めて湿潤であり結露が起き易い気象条件であった。1週間の降水量は、NC地区で1.60インチ、NW地区で0.59インチ、E. Cent地区で0.34インチ程度であった。1週間の農作業稼働日数は5.4日であった。土壌水分は“過多”が減少し“適”が増加した。HRSは81%が出穂し、34%が乳熟期であった。全体の4%が登熟を開始した。Durum小麦は52%が出穂、13%が乳熟期となった。HRS及びDurumとも昨年並びに5年平均より早い進展である。

結露し易い高温・湿潤な気象は小麦の病害の発生に繋がり、特に赤さび病(Scab)の発生が心配された。HRSの作柄は前週より多少評価が落ちたが、Durum小麦の作柄評価は上がった。

7月1日付けUSDA発表のHRS及びDurum小麦の生産量予想では、HRSの単位収量は昨年実績と同数の41.0 bu/acであり、Durumは昨年実績より1 bu/ac多い34.0 bu/acであった。播種期が早めであったこと、その後の出穂期までの天候が生育に適し降雨が全般に多かった事がプラス要因であった。

詳細は別表の通り。

土壌水分：2005年7月10日現在

	This Week	Last Week	Last Year	5-Yr Average
Topsoil				
Very Short (%)	0	0	4	6
Short (%)	3	0	11	15
Adequate (%)	74	71	71	69
Surplus (%)	23	29	14	10
Subsoil				
Very short (%)	1	1	13	8
Short (%)	6	4	15	15
Adequate (%)	68	65	56	67
Surplus (%)	25	30	16	10

小麦生育状況：2005年7月10日現在

	This week	Last week	Last year	5-Year Ave.
Durum Wheat				
Boot (%)	75	56	54	64
Headed (%)	52	31	34	37
Milk (%)	13	5	5	10
Turning (%)	0	NA	0	1

HRS Wheat				
Boot (%)	95	79	82	85
Headed (%)	81	56	64	66
Milk (%)	34	10	19	26
Turning (%)	0	NA	2	4

HRS 小麦の作柄 : 2005 年 7 月 10 日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This Week (%)	1	4	14	58	23
Last Week (%)	0	3	13	63	21

Durum 小麦の作柄状況 : 2005 年 7 月 10 日現在 :

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This Week (%)	0	1	8	64	27
Last Week (%)	0	1	13	68	18

Source: ND Agricultural Statistics Service

2005 年 7 月 1 日付け USDA 生産量予想 :

	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
				June 1	July 1		
HRS	5,950	6,600	41.0	-	41.0	243,950	270,600
State	13,174	13,637	43.2	-	43.2	568,918	588,740
Durum	1,600	1,700	33.0	-	34.0	52,800	57,800
State	2,363	2,453	38.0	-	38.4	89,893	94,075

当該作柄レポートへのご質問・ご意見は下記宛てにお願い致します。

小川正晃: E-mail ogawa.max@omicnet.com